

令和5年第1回大仙市教育委員会定例会議事録

令和5年第1回大仙市教育委員会定例会を令和5年1月27日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤 雅己
委員	小笠原 晃
	工藤 浩一
	中島 康
	伊藤 勝良

説明員	事務局長	築地 高
	次長兼教育総務課長	田口 広龍
	次長兼教育指導課長	大阪 瑞穂
	次長兼施設管理課長	讃岐 敬司
	次長兼学校給食総合センター所長	佐藤 正道
	生涯学習課長	八嶋 洋晃
	総合図書館長	伊藤 ひろみ
	総合市民会館長	品川 雄喜
	参事兼教育研究所長	小松 文彦
	神岡中央公民館長	齊藤 浩志
	中仙公民館長	高橋 千秋
	協和公民館長	阿部 成吾
	南外公民館長	佐藤 マキ
仙北公民館長	竹村 智子	
太田公民館長	草 彌晶	
書記	教育総務課参事	佐藤 到

付議案件

なし

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、高見委員から欠席の連絡が入っております。定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。

ただいまから、令和5年、第1回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

書記に、佐藤参事を指名します。

前回の定例会議事録は、ただいま御出席の委員の皆様から、署名をもって承認していただきました。

年末年始を含め比較的穏やかな天気が続いておりほっとしておりましたが、ここ数日の厳しい天気に雪国であることを実感し、安全安心面での対応に気が休まらない毎日が続いております。

市内小・中学校は冬休みが終わり、1月16日月曜日から後期後半の授業を再開しております。心配していた新型コロナウイルス感染症ですが、休み明けは感染等の報告が少なく、各学校では、順調に通常の学校生活を送ることができているようです。今後、スキー教室等の教育活動や高校受験、卒業式等の大きな行事も控えていることから、引き続き、感染予防に十分に注意しながら充実した学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

最初に学校教育関係です。先ほども申しましたように、小・中学校は順調に授業を再開しております。

特色ある教育活動について、1月5日には、冬休み期間中4つ目となる、ふるさと博士育成事業の特別企画企業体験が行われました。4つの体験とも人気が高く、何よりも参加した子供たち、そして保護者の驚きや真剣な表情が印象に残る企画であったと伺っております。引き続き、こうした活動を大事にしていきたいと考えております。1月13日には、学校における業務改善推進連絡協議会、大仙市学校教職員衛生委員会を開催しております。これは、教職員の働き方改革を進めるための会議であり、業務改善推進連絡協議会は、校長会等、教職員の研究団体や中体連、音楽関係の団体等の代表者が一堂に会し、業務改善に向けた取組の成果と課題や次年度の推進計画等についての情報を共有し、学校や各種団体が連携しながら業務改善を進めていこうという意図で開催しております。衛生委員会は、昨年4月に制定した「大仙市学校教職員安全衛生規程」に基づき初めて開催したものです。産業医を含めて、校長会、教頭会、各学校の衛生管理者等の代表者が委員となり、本市のストレスチェックの結果や時間外勤務に係る実態を基に、次年度の衛生推進計画についての御意見を伺っております。次に記載しております大曲南中学校の表彰は、新聞にも大きく取り上げられましたが、公益社団法人 食品容器環境美化協会が主催する「第23回環境美化教育優良校等表彰事業」の「最優秀校（文部科学大臣賞）」として表彰されたものです。正確には、本日表彰を受けているはずですが、長年にわたる環境美化活動やSDGsの取組が高く評価されたものと受け止めております。

研修面では、1月18日に市教頭会が行われました。また、1月24日にはB&G財団主催の全国サミットに参加しております。この会議は、B&G財団のプール等の施設をもつ市町村の代表者が出席する会議で、今回は全国から約520人の首長や教育長等が参加し、会議テーマ「地域共創」の下、地域活性化や地方創生の取組についての基調講演やパネルディスカッションが行われました。課題解決のための様々な取組はもとより、取組にかける各自治体の熱い思いに大いに刺激を受けてまいりました。

社会教育については、1月5日に「大仙市新春子ども書初め大会」が開催され出席しております。100人以上の児童生徒が参加し、例年どおりに行うことができました。今回も、大曲高校書道部による書道パフォーマンスがあり大いに盛り上がりを見せてくれました。続いて、3年ぶりに子ども囲碁大会が開催されました。コロナの影響もあってか、やや少ない人数の参加となりましたが、伝統文化である囲碁の継承につなげる貴重な機会になったと捉えております。「大仙民話の会」が、長年の活動が評価され、秋田県芸術選奨特別賞（ふるさと文化賞）を受賞しております。こちらにも本日授賞しているはずです。

部局等との連携行事については、資料のとおり出席しております。特に、中学生議会については、委員の皆様にもお忙しいところ参加していただき誠にありがとうございました。堂々と自分たちの思いや考え、実践を踏まえた提案型の質問をする中学生の姿に頼もしさを感じたところです。その後で、市議会議員との懇談会が開催されております。これは、議会側からの強い要望により初めて開催したもので、議員の皆様の中学生に対する大きな期待を強く感じたところでした。

安全安心面については、大きな事故の報告はありませんし、新型コロナウイルスについても、今のところ、学級閉鎖等の措置はございません。

なお、1月3日の夜に協和地域で交通事故があり、同乗していた中学生が頭にけがをしたことが一部で報道されましたが、1週間程度自宅で安静にした後、通常の生活に戻っておりますので、御安心ください。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、資料の2ページを御覧ください。教育総務課は、記載の1項目のみです。以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は、10項目記載しております。

2番の「学校事務共同実施推進協議会」です。共同実施グループは、中学校区等を利用しながら7つのグループに分かれております。そのなかで一緒に活動について見学し合ったり、助言し合ったりしているところです。今回、事務職員の中にもコロナに罹患した方がおり、共同事務実施の必要性が改めて示されたところです。

3番の「大仙市中学生議会」ですが、生徒は20人参加しております。

7番の「大仙市学校教職員衛生委員会」ですが、教育長からお話がありましたように、ストレスチェックの結果、時間外勤務時間の状況等を基に協議し、来年度の活動計画について確認しました。ストレスチェックからは、上司や同僚からの支援が高いという結果が得られております。ただし、活用の仕方についてはこの後も検討してまいりたいと思います。

それから、小中学校の冬季休業が1月13日に終了しましたが、中に学校閉庁日を年末2日、年始1日、計3日とりました。教職員からは、休みやすくなったとの声が大変多かったです。一方、冬季休業に入り2日目から閉庁となったところがあり、直前に業務遂行に追われたという方たちもおりましたので、年度初めからのアナウンスをしっかりとまいりたいと思います。

10番の「市シェイクアウト訓練」には、全ての小中学校が参加しました。以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは工事関係についてです。四ツ屋公民館改築工事は、今月23日から休工中ですが、建物の躯体である鉄骨は、現在工場で加工製作をしております。工事の再開は、降雪の具合にもよりますが、来月中旬を予定しており、除雪をした後、基礎コンクリート周りの埋め戻しをし、3月中旬には鉄骨の立て方を予定しております。工程は若干遅れておりますが、全体工程には影響ありません。以上です。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターにつきましては、記載の1項目のとおりです。

「学校給食主任及び担当者会議」は、12月27日の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症がまだ落ち着かなかったために書面会議として、1月12日付けで、

総合センター管轄の小学校9校、中学校4校に資料を送っております。以上であります。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課は、記載の4項目です。

1番、先ほど教育長報告にもありましたが、1月5日大曲体育館において「令和5年大仙市新春子ども書初め大会」を開催いたしました。大会には、小学生68人、中学生11人、高校生12人の計91人が参加し、課題に真剣に取り組みながら、それぞれの想いを込めて筆を走らせていました。また、同会場内の書初め体験コーナーにおいては、小学校低学年の11人が参加し、初めて書道に接する参加者も楽しみながら作品を完成させていました。オープニングでは、セレモニーとして昨年度に引き続き大曲高校書道部の皆さんによる書道パフォーマンスも披露され、新春恒例の書初め大会に花を添えていただきました。また、今回の大会で提出された全作品は、1月13日から22日まで大曲交流センターに展示し、多くの市民から鑑賞していただきました。

3番の「第15回大仙市子ども囲碁大会」を1月22日に大曲交流センターで開催しております。当大会は、子供たちに囲碁に親しむ機会を提供し、次世代の囲碁文化継承者育成とその交流振興などを目的に開催しているものですが、コロナの影響により今回は3年ぶりの実施となりました。大会には、小中学生併せて7人が参加し、19路盤コース、13路盤コースと2部門に分かれての対局が行われました。当日は、公益財団法人日本棋院所属の安藤和繁プロ棋士をお招きして、大会審判長を務めていただいたほか、大会と併せて行われた初心者用教室では、5人の参加者へ分かりやすく丁寧に囲碁の御指導もしていただいております。今回、コロナの影響か参加者が少なかったことを踏まえ、来年度以降の開催については、より多くの子供たちに参加していただけるよう、開催時期や開催方法等について検討する必要があるものと、課内で課題を共有したところです。

4番の「支所長連絡会」については、コミュニティスクールに関して当課から説明に何うべく予定しておりましたが、今週の寒波の影響による天候不良で中止となっておりますので、資料の訂正をお願いします。以上です。

伊藤教育長

4番については、中止ということです。

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では、1項目掲載しております。

1月25日に、大曲小学校の2年生、3クラス95人の皆さんに、大曲図書館内の見学をしていただいております。25日はあいにくの悪天候でしたが、当日は休館日でしたので、中をゆっくり見学いただき、皆さんから図書館の本を借りていただいて、有意義な時間を過ごしていただいております。以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館は、2項目、記載のとおりです。以上です。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

3ページを御覧願います。花館公民館は、6項目を記載しております。

6番ですが、花館小学校の児童が、地域の伝統行事を学ぶ総合学習の「縦割り学習」の一環で作成しました「ミニぼんでん」について、1月26日から2月9日までが6年生の作品を市役所本庁正面玄関、5年生の作品を大曲駅東西自由通路ハミングロード、1月31日から2月5日まで4年生の作品をはなび・アム3階に展示いたします。ぼんでんの当日2月11日には、渡船場に全校児童のミニぼんでんを展示いたしますので、ぜひ会場へお越しいただきますようよろしく願います。花館公民館は、以上です。

伊藤教育長

本庁の玄関前も、素敵な雰囲気があったように思います。

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館は2項目記載しておりますが、1の「ジュニアスキー教室」について御説明いたします。

1月7日土曜日に大曲ファミリースキー場で開催いたしました。対象は、神岡小学校の1・2年生で、24人の参加がありました。講師は、神岡スキークラブの会員7人です。1年生は歩くのも難しかったり、滑ってみて転んで一人では起きられなかったりするような子供たちもたくさんいますので、このスキー教室は保護者から大変好評を得ております。当日は天気にも恵まれましたので、楽しそうな姿が印象的でした。神岡中央公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長が欠席ですので、生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

大綱交流館は、3項目記載しております。

2番の「チャレンジ夢広場（冬休みわくわく体験）」ですが、秋田さきがけ印刷センターを見学しております。参加した子供たちからは、大きな印刷機械がすごかった、本当に勉強になったなどと感想をいただいております。大綱交流館の行事報告は以上です。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、3項目記載しております。

1番のドンパル自主事業「優秀映画観賞会」ですが、1月21日、22日の2日間開催されました。上映作品は、21日土曜日が鈴木清順監督の「けんかえれじい」と「東京流れ者」の2本、22日日曜日は岡本喜八監督の「独立愚連隊」と「日本のいちばん長い日」の2本を上映しております。来場者は、2日間で延べ90人でした。今回も熱心な映画ファンの方々に十分楽しんでいただけたのではないかと考えております。中仙公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館は、4項目記載してございます。

4項の、文化財保護協会と仙人大学の合同研修会ですが、こちらは中止となっております。以上です。

伊藤教育長

4番は中止ということですが。

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館では、7項目挙げさせていただいております。

3番の「キッズアドベンチャー」は、小学生向けの市外での体験教室で、夏休みと冬休みの年2回実施している事業です。今回は、秋田県児童会館と県立スケート場に出かけております。今回もコロナウイルスの感染対策のため、スケート

場もお部屋をお借りして、ほかの利用者と別に食事ができるように協力をいただいております。当日、体調不良のため参加できない児童もおりましたが、応募者が、利用場所やスタッフの数などの問題により設けている定員を超えてしまい参加いただけない児童がおりましたので、今後はできるだけ定員を増やせるよう検討していきたいと考えております。

5番の「南外地域スキー教室」は、1月21日に田沢湖スキー場で開催しております。悪天候で若干時間を短縮した開催となりましたが、児童だけでなく大人も参加できる教室として開催しており、保護者が子どもと一緒に参加して講習を受けてから家族でスキーに出かける、あるいは学校のスキー教室に協力するための事前練習として毎年好評ですので、今後も地元スキークラブやスキー場の協力をいただけて続けていきたいと考えております。以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は、記載の3項目です。これとは別に、1つ情報提供させていただきます。

ふれあい文化センターは、12月末で集団接種が終了してございます。今月からはホールの照明をLEDに改修する工事に入っており、工期は3月末までとなっております。以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民からは、5項目掲載しております。

2番の「太田の火まつり実行委員会」について説明します。火まつりについては、2月4日土曜日に秋田太田奥羽グラウンドゴルフ場を会場に行われますが、そのための話し合いを行いました。この火まつりはコロナのため令和2年度は神事と天筆焼きのみ、令和3年度は紙風船上げ等のイベントを実施せず規模を縮小して実施しております。そのため、通常での開催は3年ぶりとなります。当日上げる紙風船については、地域学校協働活動の一環として太田地域の全ての小中学校で地域のボランティアの協力をいただき、一つひとつの風船に願いを込めて紙風船づくりを行っております。火まつり当日は、雪中田植え、天筆焼き、冬花火、紙風船などが行われます。ぜひ当日お時間がありましたら御来場いただければ幸いです。太田公民館からは以上です。

伊藤教育長

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。若干、悪天候の影響があったようですが、比較的順調に事業が進められたように感じます。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいですか。

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

今回は付議案件がございませんので、続いてその他に入らせていただきます。

定例記者会見資料について、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

それでは、定例記者会見資料「大仙アカデミーの開催」について御説明いたします。お配りの資料ナンバー1を御覧ください。先に委員の皆様には郵送にて御案内させていただいておりますが、改めまして御説明させていただきます。

当事業は、市民が地域における「つながり」「絆」を再認識し、地域づくりへ積極的に参画するきっかけづくりを目的に「市民が主役の地域づくり講座」を開催するものです。各界の第一線で活躍されている方々を講師にお招きし、様々な観点からの経験と広い視野に基づいた講座を行うものであり、昨年10月に続き今回は第2回となります。講座の詳細は資料の囲み部分となります。

日時は令和5年2月18日土曜日午後2時から、本市旧神岡町出身でトヨタグループの研究機関である「株式会社コンボン研究所」代表取締役所長の菊池昇氏を講師にお招きして、「高質な田舎とテクノロジー」を演題に、SDGsやITなどのトレンドやテクノロジーで大仙や秋田はどう変わるのか、とした内容のお話をお伺いする予定であります。

大曲市民会館大ホールを会場に、全市民を対象として、定員は300人程度を想定しております。受講料は無料ですが、受講希望の場合は事前申込みが必要となります。

当事業は、今年度からの新規事業であり、講座は今回が2回目ですが、市民が主役の地域づくり実現への一助となるよう、来年度以降も継続してまいりたいと考えております。私からの説明は、以上となります。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

私も1回目、タニタの社長さんの講演会に参加しましたが、やはり視野と言い

ますか、見えている風景が違ふと感じたところですので、ぜひお時間があれば参加いただければと思います。よろしく願いいたします。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では、その他のことについて、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

小笠原委員

教育総務課からいただいた冊子の中の記事でしたが、新年度から、7月までの産休講師については、4月当初から加配措置の講師として採用できるというものがありました。産休講師というのは今まで年度途中の採用で講師を探すのも大変だったり、なかなか子供たちも途中から新しい先生ということで大変困る状況もあったりしたのではないかと思うのですが、これが適用されると学校体制としても、それから講師も4月から職があるということでも、また、習う子供たちも慣れた先生から教わり、教委も講師を探さなくていいということで、本当にどこをとっても良い制度、新しい体制だと思いました。本市でもこのような恩恵がある学校が予定されているのかということと、当然4月からの加配措置は、産休講師に変われば加配措置はなくなるということなのでしょうね。この2つについてお聞きいたします。

伊藤教育長

教育指導課長からお願いします。

教育指導課長

小笠原委員が今おっしゃられましたように、国では11月に小中学校に5月から7月に出産予定の教員に対して年度当初から配置する旨を発表したところなのですが、実は、県からの通知がまだ入っていないところです。ただ、県から5月から7月の出産予定の対象者がいるかということについては問い合わせがありました。私としましても、4月から適用される予定があるか聞いたところ、現時点では検討中という答えでした。おそらく、県内の講師不足というのがひとつ頭の中にあるのではないかと予想されます。

本市では、対象者が2人おります。教職員の中でも栄養教諭と養護教諭になりますが、これについてもその間加配されていて途中から産休になるということですので、有効な制度だと思っております。市教委としても活用できることを望んでいるところです。以上です。

小笠原委員

分かりました。

伊藤教育長

まずは、県の対応を期待して待っているというところです。

ほかにございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。

それでは、教育総務課長から、次回の日程等についてお願いいたします。

教育総務課長

次回定例会についてですが、2月20日月曜日、いつもより30分早く繰り上げてまして午後3時00分から、ここ大会議室で開催したいと考えております。例年、2月の定例会は、補正予算、当初予算、条例案など3月議会の案件がいろいろ盛りだくさんですので、30分繰り上げて開催したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

また、来週2月3日は、総合教育会議の開催となります。既に通知を差し上げておりますが、2月3日午後3時30分から、ここ大会議室で開催となっておりますので、併せてよろしく申し上げます。以上です。

伊藤教育長

次回定例会は、2月20日月曜日、30分早めの午後3時から、ここ大会議室で開催とのことです。よろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。次回定例会は、そのように開催させていただきます。また、来週は総合教育会議がございますので、併せてよろしく申し上げます。

なお、この後ここで「協議会」を行いますので、委員の皆様と関係職員以外の方は御退場をお願いいたします。

本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じます。

ありがとうございました。お疲れ様でした。